外傷専門医認定申請の手引き

一般社団法人日本外傷学会

専門医制度委員会委員長　木村昭夫

専門医認定委員会委員長　金子直之

外傷専門医認定を申請するものは以下の注意を熟読し、間違いのないように注意して申請書類を作成して下さい。なお、申請書類はホームページよりダウンロードし、プリントアウトしたものと共に電子媒体（CD化）として別に提出して下さい。

なお、**2013年度から申請書類様式は変更になっており、2012年度以前の様式は使えません。**

**１. 提出する書類(正・副各１通)**

1. 申請書（様式１）
2. 履歴書（様式２）
3. 医師免許証（写）
4. 診療実績Ａ表；Ａ-I、Ａ-II、A-III表（様式３、エクセル表）
5. 診療実績Ｂ-I表（様式４-１～４-５）5枚
6. 診療実績Ｂ-II表（様式５-１～５-10）10枚
7. 診療実績Ｃ表（様式６）
8. 研修修了証明書（様式７、８）
9. 日本外傷学会学術集会参加証明書（様式９）

10）学術活動実績表（様式10）

　　11）JATEC研修コース受講・開催証明書（様式11）

　　12）災害活動実績表（様式12）

　　13）推薦書（様式13）

**２．書類送付に際して**

1) 書留郵便、レターパック、宅配便を使用すること。

2) 申請者のあて名書きされたハガキを同封のこと。

3) 申請書のデータを保存したCDを同封のこと。

4) 審査料の振込用紙の控えのコピーを同封のこと。

5) 送付先は「〒169-0072東京都新宿区大久保2-4-12　新宿ラムダックスビル9F

㈱春恒社内　日本外傷学会事務局　専門医認定委員会宛」

**３．作成の注意点**

1）年月は西暦で記入のこと。

2) 様式２の履歴書の顔写真は最近３カ月以内のものを使用すること。

3) 様式３、様式４、様式５の診療実績表作成に関しては、別紙**「日本外傷学会専門医診療実績表（以下、実績表）の作成および審査について」**を熟読し、記載例（見本）を十分に参照して記載する。記載にあたっては、個人情報に十分留意すること。

4)「外傷研修修了証明書」（様式7）は、外傷に関する研修を行った施設の主たる指導医師の証明をもらうこと。但し、外傷学会入会前の症例に関しては、入会より１年前までの症例のみ認める。

* 1. 指導医師名および所属長氏名は、本人のサイン（自署）とする（電子媒体中の名前は活字で構わない）。
	2. 研修した施設が複数の場合には、その施設ごとに作成する。
	3. 研修施設が外傷専門医研修施設であればその施設の認定番号を、外傷専門医研修施設で無い場合には基本領域（13学会）の欄にチェックを入れること。

5）「外傷研修施設一覧表」（様式８）に関して

①　申請に足りる研修年数の研修期間を証明すること。５年以上あれば総て記載すること。

②　複数の施設に及ぶ場合はそれぞれを記載し、右端「終了証明書番号」は様式７の右肩の番号と一致すること。

6）学術集会参加証明書（様式９）に関して

①　最近５年間で、日本外傷学会学術集会への最低**３**回の参加を証明すること。

②　参加章がない場合、参加を証明できる抄録集コピーでも構わないが、その場合は筆頭発表者や座長などでなければならない。

7）学術活動実績表（様式10）に関して

①　学術論文は、国内外の医学雑誌で、査読により採用された外傷に関する筆頭論文１編以上を含むこと。内容は原著・総説・症例報告のいずれでも良いが、地方会誌、商業誌、依頼原稿、学会抄録集の延長とみなされる雑誌等については、これと認めない。また、既に掲載されたもののみを認め、採用決定通知があっても申請時までに未掲載であれば、これを認めない。雑誌および内容の適否については外傷専門医委員会で審査する。

②　学会・研究会発表は、最近５年間における外傷に関する発表で、筆頭者として３題以上、かつそのうち１題は日本外傷学会で発表したものとする。

8）「JATEC研修コース」（様式11）に関しては、受講・講師・開催を証明するもののコピーを添付すること。

9）「災害活動実績表」（様式12）に関しては、その参加や主催を証明するもののコピーを添付すること。これにはDMAT、MIMMS、MCLSの受講・講師・開催、厚生労働省や学会のバックアップがある災害コース（大規模災害対策コース、日本集団災害医学会セミナー等）の受講・講師・開催が含まれるが、地域性の強いものや病院単位のものは認めない。JPTEC、ITLS（またはBTLS）については、コース・メディカル・ディレクターまたは責任医師としての開催のみ認める。

10）「外傷専門医推薦書」（様式13）に関しては、推薦を受ける外傷専門医の自署による推薦書を提出すること。申請時の所属施設が外傷専門医研修施設であれば外傷専門医１名、それ以外の施設に所属する場合には３名の推薦を提出すること。

以上